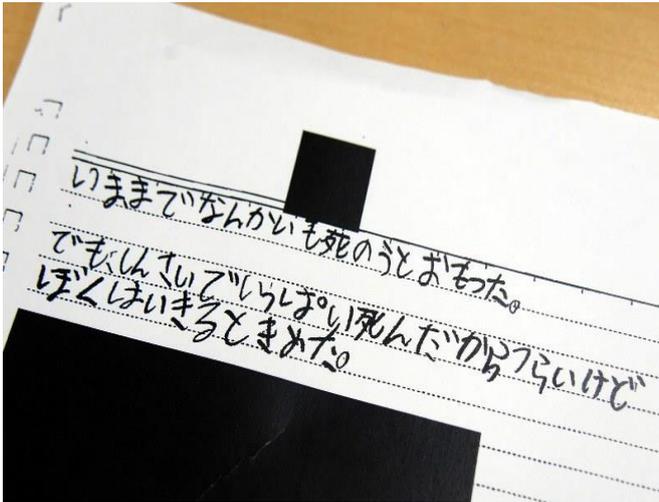




かいつぶり

長浜北星高校 人権通信 2016年12月9日

いままでなんかいも死のうとおもった。
でも、しんさいでいっぱい死んだから
つらいけどぼくはいきるときめた。



2016年11月25日。2011年3月11日の東日本大震災が引き起こした東京電力福島第一原発事故後に、福島県から神奈川県横浜市に避難した男子生徒（13歳）が、転校先だった横浜の市立小学校で原発避難を理由にいじめを受けていたことがニュースで報じられました。

被害生徒は「同じようにいじめられている子どもの励みになれば」という思いで手記を公表しました。原発事故を「ネタ」にしたいじめに傷ついた心や、抵抗できなかったことへの悔しさが記されています。

〈被害生徒の手記（一部）〉

「お金をもってこいと言われた」「メールでも言われた」

「お金をもってこいと言われたとき すごい いらいらと くやしさがあったけど ていこうすると また いじめがはじまるとおもって なにもできずに ただこわくてしょうがなかった」

「ばいしょう金あるだろ と言われ むかつくし、ていこうできなかったのも くやしい」

「〇〇（加害児童生徒名）には いつもけられたり、なぐられたり ランドセルふりま（わ）される、かいだんではおされたりして いつもどこでおわるか わかんなかったのだから こわかった。」

「ばいきんあつかいされて、ほうしゃのうだとおもって いつもつらかった。福島の人はいじめられるとおもった。 なにも ていこうできなかった」

「いままでなんかいも死のうとおもった。でも、しんさいでいっぱい死んだから つらいけどぼくはいきるときめた。」

原発事故の賠償金をもらっているだろうなどといいがかりをつけられて多額の金銭を要求されたり、「ばい菌」と呼ばれ「放射能の影響ではないか」と不安になったりした経緯が記されています。いじめは小学2年生から5年生まで続いたといっています。

12 / 10 は“世界人権デー”

“すべての人間がもつ生まれながらの自由・平等 (=人権)”を地球規模で確認する「世界人権宣言」を国連が総会で採択したのは、1948年12月10日のことです。

世界が平和であるためには、その基礎にお互いの人間性を認め、その人権を尊重しあう、国境をこえた人々のつきあいがなければならない。

世界人権宣言は、こうしたヒューマンな考え方によって成り立っています。

この世界人権宣言の採択を記念して、12月10日は「世界人権デー」となっています。

〈世界人権宣言〉

【前文】

人類社会のすべての構成員の固有の尊厳と平等で譲ることのできない権利とを承認することは、世界における自由、正義及び平和の基礎である。

【第1条】

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。

【第2条】

すべて人は、人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、国民的もしくは社会的出身、財産、門地その他の地位又はこれに類するいかなる事由による差別をも受けることなく、この宣言に掲げるすべての権利と自由とを享有することができる。

「われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において名誉ある地位を占めたいと思う。」 (日本国憲法前文)

人間社会は、今も「発展途上」です。自由や平等といった人権に関しても、江戸・明治・大正・昭和と時代を経るごとに向上してきたことは事実です。しかし、2016年(平成28年)の現在もなお様々な克服すべき課題は残っています。残っているだけでなく、いじめやネット上の人権侵害など新たな問題が出てきている状況です。

それらの、人間社会にとって“克服すべき課題(差別・偏見・不寛容・暴力・いじめ・・・)”については、「地上から永遠に除去しようと努める」(日本国憲法前文の言葉)ことが我々の務めです。

世界人権宣言にいうように、人間は、理性と良心とを授けられています。わたしたちはその理性と良心に基づいて行動すべきなのです。

近現代は、いつの時代も激動する世の中ではありますが、その世の中のさまざまな状況や身近な周りの状況を理性的にみて、良心にしたがって行動できる人になってください。

